

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公表番号】特表 2019-523473 (P2019-523473A)
 【公表日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-034
 【出願番号】特願 2018-559774 (P2018-559774)
 【国際特許分類】

G 1 6 H 50/20 (2018.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 1 6 H 50/20 Z J P

A 6 1 B 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

システムであって、

プロセッサと、

ディスプレイと、

を含み、

前記プロセッサは、

患者の非瞬間生理学的測定中に取得され、診断可能化データとして識別されている 1 又は 2 以上の第 1 の部分と診断可能化データとして識別されていない少なくとも 1 つの第 2 の部分とを含む生理学的データを取得し、かつ

前記取得された生理学的データ内で医療実務者が特定の時点にナビゲートすることを可能にするプログレスバーを含み、前記プログレスバー上に前記取得された生理学的データ内の対応する時点に関連する前記第 1 の部分のうちの少なくとも 1 つの対応する第 1 の部分の場所の少なくとも 1 つの表示を含み、該ユーザが該場所を識別することを可能にするユーザインタフェースを前記ディスプレイ上に表示する、

ように構成される、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記生理学的データは、長さが少なくとも 10 秒の音声又は映像記録であり、前記表示は、前記少なくとも 1 つの対応する第 1 の部分の開始場所の第 1 のマーキングを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記表示は、前記少なくとも 1 つの対応する第 1 の部分の終了場所の第 2 のマーキングを含むことを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記生理学的測定は、前記医療実務者ではないユーザによって手持ち式診断デバイス内に含まれたセンサを用いて行われ、

前記生理学的データは、第 1 の地理的場所で行われる前記生理学的測定中に取得され、

かつ該第 1 の地理的場所から遠隔である前記医療実務者の第 2 の地理的場所に送信される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記プロセッサは、

前記生理学的データ内の関心領域の表示を前記医療実務者から受信し、かつ

前記生理学的データと前記関心領域の前記表示とを第 2 の医療実務者によって作動される遠隔ワークステーションに送り、それによって該遠隔ワークステーションが該生理学的データと該関心領域の該表示とを分析目的で該第 2 の医療実務者に提示することを可能にする、

ように更に構成される、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記プロセッサは、ナビゲーションユーザインタフェース（U I）要素を前記ディスプレイ上に表示するように更に構成され、

前記ナビゲーション U I 要素の起動時に、システムが、前記第 1 の位置のうちの次の又は以前の第 1 の位置まで自動的にナビゲートし、それによって前記第 2 の部分を飛び越すことを可能にする、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

患者の非瞬間生理学的測定中に取得され、診断可能化データとして識別されている 1 又は 2 以上の第 1 の部分と診断可能化データとして識別されていない少なくとも 1 つの第 2 の部分とを含む生理学的データをプロセッサによって取得する段階と、

前記取得された生理学的データ内で医療実務者が特定の時点にナビゲートすることを可能にするプログレスバーを含み、前記プログラスバー上に前記取得された生理学的データ内の対応する時点に関連する前記第 1 の部分のうちの少なくとも 1 つの対応する第 1 の部分の場所の少なくとも 1 つの表示を含み、該ユーザが該場所を識別することを可能にするユーザインタフェースを前記プロセッサによってディスプレイ上に表示する段階と、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 8】

前記生理学的データは、長さが少なくとも 10 秒の音声又は映像記録であり、前記表示は、前記少なくとも 1 つの対応する第 1 の部分の開始場所の第 1 のマーキングを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記表示は、前記少なくとも 1 つの対応する第 1 の部分の終了場所の第 2 のマーキングを含むことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記生理学的測定は、前記医療実務者ではないユーザによって手持ち式診断デバイス内に含まれたセンサを用いて行われ、

前記生理学的データは、第 1 の地理的場所で行われる前記生理学的測定中に取得され、かつ該第 1 の地理的場所から遠隔である前記医療実務者の第 2 の地理的場所に送信されることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

前記生理学的データ内の関心領域の表示を前記医療実務者から前記プロセッサによって受信する段階と、

前記生理学的データと前記関心領域の前記表示とを第 2 の医療実務者によって作動される遠隔ワークステーションに前記プロセッサによって送り、それによって該遠隔ワークステーションが該生理学的データと該関心領域の該表示とを分析目的で該第 2 の医療実務者に提示することを可能にする段階と、

を更に含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 1 2】

ナビゲーションユーザインタフェース（U I）要素を前記ディスプレイ上に表示する段階を更に含み、

前記ナビゲーションU I要素の起動時に、前記プロセッサは、前記第 1 の位置のうちの次の又は以前の第 1 の位置に自動的にナビゲートし、それによって前記第 2 の部分を飛び越すことを可能にする、

ことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 1 3】

患者の非瞬間生理学的測定中に取得され、診断可能化データとして識別されている 1 又は 2 以上の第 1 の部分と診断可能化データとして識別されていない少なくとも 1 つの第 2 の部分とを含む生理学的データを取得する段階と、

前記取得された生理学的データ内で医療実務者が特定の時点にナビゲートすることを可能にするプログレスバーを含み、前記プログレスバー上に前記取得された生理学的データ内の対応する時点に関連する前記第 1 の部分のうちの少なくとも 1 つの対応する第 1 の部分の場所の少なくとも 1 つの表示を含み、該ユーザが該場所を識別することを可能にするユーザインタフェースをディスプレイ上に表示する段階と、

を含む方法を実施するように少なくとも 1 つのプロセッサによって実行可能なコンピュータ可読プログラムコードが具現化された非一時的コンピュータ可読ストレージ媒体。